

巻頭言

Foreword

専務執行役 開発本部長
近藤賢二



新年明けましておめでとうございます。

平素から“三菱電機技報”をご愛読いただき、誠にありがとうございます。“技術の進歩特集”号の発行に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

三菱電機グループは2020年度までに連結売上高5兆円以上、営業利益率8%以上を達成するという経営目標を掲げ、日々努力を重ねております。目標を達成し、2020年度以降も成長し続けるためには、研究開発がその鍵となります。研究開発は当社グループの持続的成長のための“要”です。明日の製品に生かすことのできる研究開発もあり、10年後、20年後に花開く研究開発もあります。私たちはイノベーション(創新)を通じて当社グループを持続的に成長させ、ひいては豊かな社会の実現に貢献することができるよう、短期・中期・長期の課題に勇気を持って果敢に挑戦し続けてまいります。

日々の努力の積み重ねによって、当社は誰にも負けない最先端の技術をたくさん持っていると自負しています。ただ、今日では、技術は驚異的なスピードで進展し、信じられないほどの広がりを見せ始めています。そのような中で、IoT(Internet of Things)や人工知能に関する話題が、日々大きく取り上げられており、当社が持っている様々な技術に、IoTや人工知能などの研究を重ね合わせ、研究を更に発展させて深めていくことが必要だと考えています。その際には、私たちが独自に色々な研究開発をすることに加えて、国内外の大学やベンチャーを含めた社外の人々の知恵や技術の取り込み、あるいは人材を活用するオープンイノベーションを行いながら、更に大きくスピード感のある開発を推進してまいります。

当社には、約100年に及ぶ歴史の中で培ってきたDNAのようなものがあります。これは、ただひたすらお客様に

喜んでいただける良いものを作り、それを世の中に発表して世界に貢献していきたいというものであります。私はこれを“三菱電機のコード”と呼んでおります。このコードを守り続けながら、私たちは更なる発展を遂げ、お客様により良い価値をご提供し、喜んでいただきたいと考えています。そのためにはこれから10年後、20年後、さらには30年後をも見据えて、“変える勇気”を持ち、“変わる努力”を続けていくことが必要だと考えています。

私の好きな言葉に“Do everything with a smile.”という言葉があります。これはマハトマ・ガンディが息子に対して送った言葉です。私は、どんな状況にも微笑(ほほえ)みをもってチャレンジをしていくことが必要だと考えています。様々な苦しいことや困難なことにぶつかった時にも、私たちはにっこりと笑い、勇気を持ってチャレンジし続けてまいります。この挑戦し続ける心が当社グループの持続的成長につながり、さらには日本社会、世界の発展につながるのだと確信しています。

もう一つ私の好きな言葉に、“一人の一万歩”より“一万人の一歩”という言葉があります。一人の天才の歩みは貴重です。しかし、社会を前進させるのは何万人、何十万人、何百万人、いや何億人の人々の小さな一歩の積み重ねなのではないでしょうか。私たちが前を向いて一歩踏み出す勇気を持ち、努力して一歩を踏み出せば、それは一人一人にとっては一歩ですが、一万人が集まれば一万歩に、十万人が集まれば十万歩に、百万人が集まれば百万歩になるのです。私たちは皆様とともに勇気を持って一歩を踏み出すことをお約束いたします。

最後になりましたが、改めて皆様の社業のますますのご発展と、皆様おひとりおひとりのご健勝を心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。